

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

<p>エントリー学校名： 岐阜大学教育学部附属小中学校</p>
<p>活動名： 主タイトル 複数担任制への取り組み 副タイトル 今後の指導体制の在り方を探る</p>
<p>解決すべき課題： ○学校現場を取り巻く社会状況が変化し、学校教育が抱える課題も複雑化・多様化している。以下の課題に対して、1つの学級を複数で担任することで課題解決を図ろうと考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の諸問題を一人で抱え込まない体制づくり（担任批判、保護者対応、生徒指導） ・多様な価値観での指導体制づくり ・児童、保護者が気軽に相談できる体制づくり ・教員研修の在り方
<p>目標・方針： 「子どもにとっての学びやすさ」「暮らしやすさ」を第一に考えた教育を実現できないか。そのために、学年で指導の方向は共通理解しつつ、個に応じた指導をしていく。複数の目で個を見れば、よさや課題を多角的、多面的に見出すことができ、ひいては、個性の伸長を図ると同時に、学校生活そのものがその子に応じたものになっていくのではないかと考えた。</p>
<p>活動内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年（第 5 学年）3 学級を 4 名体制で受け持つ。 ・4 名が順番に学級担任として、各学級に入る。 ・学級担任が指導する時間をそのとき担任になった者が受け持つ。 ・一人は学年全体をみたり、担任について研修したりする。
<p>活動の成果：</p> <p>児童・保護者より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った先生に話すことができてよい。 ・色々な考えを知ることができてよい。 ・同性にしか話せないこともあり、変わりあってもらえるとありがたい。 ・色々な先生にアドバイスをもらえて解決できたことがある。 ・たくさんの目でみていただけてありがたい。 ・色々な考え方に触れて視野が広がったように思う。 <p>職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な学級指導、学級経営をみることで勉強になった。
<p>アピールポイント（アイデアや工夫）： ※3～5 つ程度、箇条書きしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定期間担任を入れ替えるという新しい試みであること。 ・学年全職員の目で、学年全児童をみて指導ができること。 ・必然的に学年職員の歩調、指導方向を合わせることになり、より一層職員間の意思疎通を図ることができること。

<p>複数担任制のシステム</p>	<p>【交代の仕方】 （順番） ①学年主任だけがかわる ②学年全職員がかわり合う （期間） ① 3 日間でかわる ② 1 週間でかわる</p> <p>※上記の方法を児童の様子を見ながら、色々組み合わせさせて実施した。</p>
<p>複数担任制を実施した結果</p> <p>【子どもの視点から】 よかったことは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年間で四人の先生が担任になったこと。 ・先生が変わることで（友達との）関わり方が変わり、友達との関わりも前より増えた。 ・色々な先生のことが知れるし、困ったときにたくさんの先生に相談できる。困ったときに自分にあった先生に話せる。 ・先生と話しやすくなった。四人の先生と仲が深まった。色々な先生に話しかけることができるようになった。関わりやすい先生を見つけることができるから、その先生が回ってきたときに話しやすかった。 ・やっぱり苦手な先生がいるから回ってくれとありがたい。 ・たくさんの先生が来てくれているんな目標を持つことができる。クラスみんなの行動を見てどう思ったかたくさんの意見が聞けて高めていけた。色々な先生の意見を聞いてそれを生かしてよりよくなった。 ・（先生の）いろいろな性格の違いがあって面白い。 ・困ったときなど、いろんな先生の対応の仕方で解決できた。 ・固定だといつも同じ先生でつまらないけど、色々な先生の方がいつも新鮮だと思う。 ・どの先生でも自分の思いを伝えることができるようになる。名前だけを知っている先生がいなくなる。 ・男の先生だと言えないこともあって、女の先生だと話しやすい。 	
<p>【保護者の視点から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの目で見ていただけてありがたい。 ・来年度からも続けてほしい。 ・基本担任以外の先生にも話を聞くことができありがたい。 ・我が子は五年間で男性の担任が一年間だけでしたので新鮮さも感じているようです。複数担任制はそのような偶然の偏りも解消してくれています。 ・色々な考え方に触れることによって視野が広がったり、大人への見方も深まっています。子どもと同じで大人（先生）も色々だと。 	
<p>【職員の視点から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に次の点をよく考え指導し、指導力が向上した。 「それぞれの学級でそれぞれの子に対応すること」「どんな指導がよいかそれぞれの学級に応じて考えること」「指導することを共有しバトンタッチした先生が見届けることができるようにすること」 ・様々な先生の学級経営をみることができ、大変勉強になった。 	